

The 2 Chome Times 2022年1月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO284.

2022年・1月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス1月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★映画「島守の塔」がクランクアップ

「島守の塔」という言葉を初めて聞かれた方もいらっしゃると思います。「島守の塔」とは沖縄県糸満市の摩文仁の丘 平和祈念公園内にある、沖縄戦で殉職した島田叡知事（兵庫県出身）と荒井退造警察部長（栃木県出身）をはじめ、県民の安全確保に挺身した戦没県職員469柱を祀る慰霊塔のことです。島田叡知事は最後の官選知事で実は兵庫高校卒です。戦時中の最も危険な状況下での沖縄県への派遣で、多くの沖縄県民を救い、自らは命も捧げられた尊い方でした。島田叡氏を含む多くの御霊を弔うために、1951年（昭和26年）に旧県庁の生存者三百数十人や県民を中心とした浄財の寄付により「島守の塔」が建立されました。摩文仁の丘には、陸軍の司令部壕の他にいくつかの壕があり、そのうち軍医部壕から島田叡知事と荒井退造警察部長は2人で外に出てゆき、消息を断ったのです。そのため軍医部壕が2人の終焉の地とされており、

「島守の塔」はその壕の前に建立されています。さらにその後ろに、島田知事と荒井警察部長の終焉の地を示す石碑が配置されています。この実話を映画化するために2020年3月に撮影が始まりましたが、コロナ禍により、中断を余儀なくされ、昨年11月に撮影が再開され、この度クランクアップしました。

出演は島田叡役に萩原聖人さん、荒井退造役に村上淳さん、比嘉凜役に吉岡里帆さんが臨まれています。映画の配給は今年度中に決まっています。今年、中止になった「夢未来号」でも毎回、子供さん達をこの「島守の塔」までお連れして、歴史を学んで頂き、平和の大切さを肌で感じて頂いています。今なお沖縄は基地問題を含む、その地理的な位置関係において政治的なその運命に揺れ動いていますが、是非皆様もこの歴史的事実を覚えておいてください。



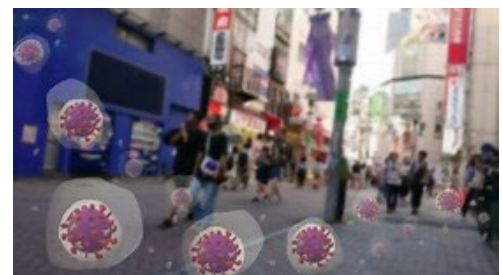
（故島田叡知事）



（故荒井退造警察部長）

★夢未来号が延期に

例年、1月の初旬に実施されてきた児童養護施設の小学校6年生の児童さん達を沖縄への研修旅行にご招待するプロジェクト「夢未来号」が沖縄でのオミクロン株の拡散により、12月20日の時点で正式に「延期」となりました。児童養護施設の関係者の方々も12月初旬の落ち着いた状況下ではその実施に向けて大いに期待を膨らませていただいただけに苦渋の選択でした。しかしながら年が明け、1月2日からの沖縄県での感染者数が51人、130人、225人と倍々で増えていった状況になり、振り返ってみると、やはり賢明な選択だったのだと思います。実際に状況が改善してくれば夏休みを利用しての実施を目指しています。早くそうなればと願っています。



★事務局のメンバーに変更がありました

昨年(2021)の12月30日付けで三宮センター街2丁目商店街振興組合になんと40年間お勤めされた酒井壽美さんが円満退職されました。酒井さんは2丁目一筋に永く滅私奉公されて来られ、その間、阪神淡路大震災で当時の専務理事が不幸にも亡くなられた時も暫く、困難な状況下でありながら一人で事務を乗り越えて来られました。酒井さんと面識のある方なら、常に控えめで、仕事には真つすぐで、決して愚痴は漏らさないそのお人柄に気付かれた方も多いのではないでしょうか。まさにセンター街2丁目商店街振興組合の屋台骨で在り続けてこられた貴重な存在の方です。本当に永年の勤続、ご苦労様でした。感謝申し上げます。まだ酒井さんは引継ぎ等で街にはちょくちょく来られますので、皆様もお見かけされた際には温かい言葉を掛けて差し上げて下さい。代わってこの1月から正式に2丁目商店街振興組合の職員になられたのが岡谷美加さんです。岡谷さんは細かいところにもよく気が付く方で、パソコンの知識も豊富ですし、2丁目にとって心強い戦力になってくださるはずですよ。どうぞ末長く宜しくお願い致します。



(左側が酒井さん、右側が岡谷さん)

★阪神淡路大震災から26年、今年も街ぐるみで献血活動を推進します

今年で阪神淡路大震災から26年が経過しました。私自身、瓦礫で悲惨な状態になった街を自警団の一員として夜中に巡回した記憶も鮮明に残っていますし、通りを歩けば「家族は無事」とか、「特定の避難所にいます」といったメモ書きが家の前に張られていたりもしました。そしてボランティア活動が盛んになり、献血活動にも積極的に参加される方が多かったですのですが、オミクロン株の影響もあり、最近ではその数が減ってきています。しかしながら、災害がいつまた起こるともわかりません。その時のためにも是非皆様のご協力が必要です。



すぐ近くに献血ルームがございますので時間の許される方には足を運んで頂き、ご自身の健康管理にも役立ちますので、献血への参加をお願い致します。

三宮センタープラザ献血ルーム：神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館3階

Tel. 0120-707-815 078-391-7070



★編集後記

「新年あけましておめでとうございます」～この言葉を素直に取れる年になって欲しいものですが、因みに2022年は十二支でいうと「寅年」、十干では「壬」となり干支は「壬寅(みずのえとら)」となります。十二支や十干は数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。例えば「壬」が持つのは第9位(水)の他、女性のお腹に子供を宿す「妊」の一部であることから「はらむ」「生まれる」という意味だそうです。「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」「演」と同じ読みの「延(えん)」から「延ばす・成長する」という意味を持っているのだとか。この2つの組み合わせである壬寅には、「新しく立ち上がる」という縁起のよさを表しているのだそうです。私達を取り囲む環境は大きく変わって行きますし、まだまだ困難も待ち受けているとは思いますが、「壬寅」の持つこのポジティブな意味を信じてこれからの難局を乗り越えて行きましょう！

本年もよろしくお願ひいたします。

